

AAA の Kerberos サーバー

ここでは、AAA で使用する Kerberos サーバーの設定方法について説明します。管理接続、ネットワークアクセス、および VPN ユーザーアクセスの認証に Kerberos サーバーを使用できます。

- AAA の Kerberos サーバーのガイドライン （1 ページ）
- AAA の Kerberos サーバーの設定 （1 ページ）
- AAA の Kerberos サーバーのモニタリング （5 ページ）
- AAA の Kerberos サーバーの履歴 （6 ページ）

AAA の Kerberos サーバーのガイドライン

- シングルモードで最大 200 個のサーバーグループ、またはマルチモードでコンテキストごとに 8 つのサーバーグループを持つことができます。
- 各グループには、シングルモードで最大 16 台、マルチモードで最大 8 台のサーバーを含めることができます。ユーザーがログインすると、コンフィギュレーション内で指定されている最初のサーバーから順に、サーバーが応答するまでこれらのサーバーが 1 つずつアクセスされます。

AAA の Kerberos サーバーの設定

ここでは、Kerberos サーバーグループの設定方法について説明します。管理アクセスや VPN を設定するときに、これらのグループを使用できます。

Kerberos AAA サーバーグループの設定

認証に Kerberos サーバーを使用する場合は、最初に少なくとも 1 つの Kerberos サーバーグループを作成し、各グループに 1 つ以上のサーバーを追加する必要があります。

手順

ステップ 1 [Configuration] > [Device Management] > [Users/AAA] > [AAA Server Groups] を選択します。

ステップ 2 [AAA Server Group] 領域で、[Add] をクリックします。

[Add AAA Server Group] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 3 [Server Group] フィールドにグループの名前を入力します。

ステップ 4 [Protocol] ドロップダウンリストから、[Kerberos] サーバータイプを選択します。

ステップ 5 [Reactivation Mode] フィールドで、[Depletion] または [Timed] をクリックします。

[Depletion] モードの場合、障害が発生したサーバーは、グループ内のサーバーがすべて非アクティブになったときに限り、再アクティブ化されます。depletion モードでは、あるサーバーが非アクティブになった場合、そのサーバーは、グループの他のすべてのサーバーが非アクティブになるまで非アクティブのままとなります。すべてのサーバーが非アクティブになると、グループ内のすべてのサーバーが再アクティブ化されます。このアプローチでは、障害が発生したサーバーに起因する接続遅延の発生を最小限に抑えられます。

Timed モードでは、障害が発生したサーバーは 30 秒の停止時間の後で再アクティブ化されます。

ステップ 6 [Depletion] 再アクティブ化モードを選択した場合は、[Dead Time] フィールドに時間間隔を入力します。

デッド時間には、グループ内の最後のサーバーがディセーブルになってから、すべてのサーバーが再びイネーブルになるまでの時間間隔を分単位で指定します。デッドタイムは、ローカルデータベースへのフォールバックを設定した場合にのみ適用されます。認証は、デッドタイムが経過するまでローカルで試行されます。

ステップ 7 次のサーバーを試す前にグループ内の AAA サーバーでの AAA トランザクションの失敗の最大数を指定します。

このオプションで設定するのは、応答のないサーバーを非アクティブと宣言する前の AAA トランザクションの失敗回数です。

ステップ 8 （任意）Kerberos キー発行局（KDC）の検証を有効にするには、[Validate KDC] を選択します。

認証を実行するには、Kerberos キー発行局（KDC）からエクスポートしたキータブファイルもインポートする必要があります。KDC を検証することにより、攻撃者が KDC をスプーフィングして、ユーザークレデンシャルが攻撃者の Kerberos サーバーに対して認証されるようにする攻撃を防ぐことができます。

キータブファイルのアップロード方法については、Kerberos キー発行局の検証の設定 （4 ページ）を参照してください。

ステップ 9 [OK] をクリックします。

Kerberos サーバーグループへの Kerberos サーバーの追加

Kerberos サーバーグループを使用する前に、少なくとも 1 つの Kerberos サーバーをグループに追加する必要があります。

手順

ステップ 1 [Configuration] > [Device Management] > [Users/AAA] > [AAA Server Groups] を選択します。

ステップ 2 サーバーを追加するサーバーグループを選択します。

ステップ 3 [Servers in the Selected Group] 領域で、[Add] をクリックします。

サーバー グループに対応する [Add AAA Server Group] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 4 [Interface Name] で、認証サーバーが存在するインターフェイス名を選択します。

ステップ 5 グループに追加するサーバーの名前または IP アドレスを入力します。

ステップ 6 サーバーへの接続試行のタイムアウト値を指定します。

Specify the timeout interval（1-300 seconds）for the server; the default is 10 seconds. For each AAA transaction the ASA retries connection attempts（based on the retry interval）until the timeout is reached. 連続して失敗したトランザクションの数が AAA サーバーグループ内の指定された maximum-failed-attempts 制限に達すると、AAA サーバーは非アクティブ化され、ASA は別の AAA サーバー（設定されている場合）への要求の送信を開始します。

ステップ 7 再試行間隔を選択します。システムはこの時間待機してから接続要求を再試行します。1 ー 10 秒の範囲で選択できます。デフォルトは 10 秒です。

ステップ 8 サーバー ポートを指定します。サーバーポートは、ポート番号 88、または ASA によって Kerberos サーバーとの通信に使用される TCP ポートの番号です。

ステップ 9 Kerberos レルムを設定します。

Kerberos レルム名では数字と大文字だけを使用し、64 文字以内にする必要があります。Microsoft Windows の **set USERDNSDOMAIN** コマンドを Kerberos レルムの Active Directory サーバー上で実行する場合は、name の値をこのコマンドの出力と一致させる必要があります。次の例では、EXAMPLE.COM が Kerberos レルム名です。

```
C:\>set USERDNSDOMAIN
USERDNSDOMAIN=EXAMPLE.COM
```

ASA では、name に小文字のアルファベットを使用できますが、小文字は大文字に変換されません。大文字だけを使用してください。

ステップ 10 [OK] をクリックします。

例

```
hostname(config)# aaa-server watchdogs protocol kerberos
hostname(config-aaa-server-group)# aaa-server watchdogs host 192.168.3.4
ciscoasa(config-aaa-server-host)# timeout 9
ciscoasa(config-aaa-server-host)# retry 7
ciscoasa(config-aaa-server-host)# kerberos-realm EXAMPLE.COM
ciscoasa(config-aaa-server-host)# exit
ciscoasa(config)#
```

Kerberos キー発行局の検証の設定

グループ内のサーバーを認証するように Kerberos AAA サーバーグループを設定できます。認証を実行するには、Kerberos キー発行局（KDC）からエクスポートしたキータブファイルをインポートする必要があります。KDC を検証することにより、攻撃者が KDC をスプーフィングして、ユーザークレデンシャルが攻撃者の Kerberos サーバーに対して認証されるようにする攻撃を防ぐことができます。

KDC の検証を有効にすると、チケット認可チケット（TGT）を取得してユーザーを検証した後、システムはホスト/ASA_hostname のユーザーに代わってサービスチケットも要求します。次にシステムは、返されたサービスチケットを KDC の秘密鍵に対して検証します。これは、KDC から生成され、ASA にアップロードされたキータブファイルに保存されます。KDC 認証に失敗すると、サーバーは信頼できないと見なされ、ユーザーは認証されません。

次の手順では、KDC 認証を実行する方法について説明します。

始める前に

Kerberos 制約付き委任（KCD）とともに KDC 検証を使用することはできません。サーバーグループが KCD に使用されている場合、KDC 検証オプションは無視されます。

手順

ステップ 1 （KDC 上。）Microsoft Active Directory で ASA のユーザーアカウントを作成します（**[Start]** > **[Programs]** > **[Administrative Tools]** > **[Active Directory Users and Computers]** に移動します）。たとえば、ASA の完全修飾ドメイン名（FQDN）が asahost.example.com の場合は、asahost という名前のユーザーを作成します。

ステップ 2 （KDC 上。）FQDN とユーザーアカウントを使用して、ASA のホストサービスプリンシパル名（SPN）を作成します。

```
C:> setspn -A HOST/asahost.example.com asahost
```

ステップ 3 （KDC 上。）ASA のキータブファイルを作成します（わかりやすくするために改行を追加）。

```
C:\Users\Administrator> ktpass /out new.keytab +rndPass
/princ host/asahost@EXAMPLE.COM
```

```
/mapuser asahost@example.com
/ptype KRB5_NT_SRV_HST
/mapop set
```

ステップ 4 （ASA 上。）**[Tools]** > **[File Management]** の順に選択し、ファイルがワークステーションにあるかリモートサーバーにあるかに応じて、[File Transfer] メニューの該当するオプションを選択してキータブファイルをフラッシュにアップロードします。

ステップ 5 （ASA 上。）**[Configuration]** > **[Device Management]** > **[Users/AAA]** > **[AAA Kerberos]** の順に選択し、[Browse Flash] をクリックして、アップロードしたキータブファイルを選択します。

ステップ 6 （ASA 上。）Kerberos AAA サーバグループ設定に [Validate KDC] オプションを追加します。キータブファイルは、このオプションが設定されたサーバグループでのみ使用されます。

a) **[Configuration]** > **[Device Management]** > **[Users/AAA]** > **[AAA Server Groups]** の順に選択します。

b) Kerberos サーバグループを選択して [Edit] をクリックします。または、この時点で新しいグループを作成できます。

c) [Validate KDC] オプションを選択します。

d) [OK] をクリックします。

AAA の Kerberos サーバーのモニタリング

次のコマンドを使用して、Kerberos 関連情報をモニターおよびクリアできます。コマンドは **[Tools]** > **[Command Line Interface]** ウィンドウで入力します。

- **[Monitoring]** > **[Properties]** > **[AAA Servers]**

  このウィンドウに AAA サーバーの統計情報が表示されます。

- **show aaa-server**

  AAA サーバーの統計情報を表示します。サーバーの統計情報をクリアするには、**clear aaa-server statistics** コマンドを使用します。

- **show running-config aaa-server**

  システムに設定されている AAA サーバーを表示します。AAA サーバー コンフィギュレーションを削除するには、**clear configure aaa-server** コマンドを使用します。

- **show aaa kerberos** ［**username** *user*］

  すべての Kerberos チケットまたは特定のユーザー名のチケットを表示します。

- **clear aaa kerberos tickets** ［**username** *user*］

  すべての Kerberos チケットまたは特定のユーザー名のチケットをクリアします。

- **show aaa kerberos keytab**

  Kerberos キータブファイルに関する情報を表示します。

- **clear aaa kerberos keytab**

Kerberos キータブファイルをクリアします。

AAA の Kerberos サーバーの履歴

機能名	プラットフォームリリース	説明
Kerberos サーバー	7.0(1)	AAA の Kerberos サーバーのサポート。 次の画面が導入されました。**[Configuration]** > **[Device Management]** > **[Users/AAA]** > **[AAA Server Groups]**
AAA の IPv6 アドレス	9.7(1)	AAA サーバーに IPv4 または IPv6 アドレスを使用できるようになりました。
グループごとの AAA サーバー グループとサーバーの制限が増えました。	9.13(1)	より多くの AAA サーバー グループを設定できます。シングルコンテキストモードでは、200 個の AAA サーバーグループを設定できます（以前の制限は 100）。マルチコンテキストモードでは、8 個設定できます（以前の制限は 4）。 さらに、マルチコンテキストモードでは、グループごとに 8 台のサーバーを設定できます（以前の制限はグループごとに 4 台のサーバー）。シングルコンテキストモードのグループごとの制限の 16 は変更されていません。 これらの新しい制限を受け入れるために、AAA 画面が変更されました。
Kerberos キー発行局（KDC）認証。	9.8(4) およびそれ以降の 9.14(1) までの暫定リリース	Kerberos キー配布局（KDC）からキータブファイルをインポートできます。システムは、Kerberos サーバーを使用してユーザーを認証する前にサーバーがスプーフィングされていないことを認証できます。KDC 認証を実行するには、Kerberos KDC で**ホスト**/*ASA_hostname* サービスプリンシパル名（SPN）を設定してから、その SPN のキータブをエクスポートする必要があります。その後に、キータブを ASA にアップロードし、KDC を検証するように Kerberos AAA サーバーグループを設定する必要があります。 次の画面が追加または変更されました。**[Configuration]** > **[Device Management]** > **[Users/AAA]** > **[AAA Kerberos]**、**[Configuration]** > **[Device Management]** > **[Users/AAA]** > **[AAA Server Groups]** の Kerberos サーバーグループの [Add/Edit] ダイアログボックス。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。